

日本薬局方 キシリトール注射液

※※ **キシリトール注射液5%「ファイザー」**

**XYLITOL Injection 5% [Pfizer]**

貯 法：密封容器、室温保存  
使用期限：最終年月を外箱等に記載  
(取扱い上の注意参照)

※※	承認番号	22700AMX00138
※※	薬価収載	2015年6月
※※	販売開始	1999年7月

注) 注意 - 医師等の処方箋により使用すること

**【禁忌 (次の患者には投与しないこと)】**

**低張性脱水症の患者** [本症はナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。]

※※ **【組成・性状】**

**1. 組成**

1 瓶中：

販売名	キシリトール注射液5%「ファイザー」
容量	500mL
成分	
有効成分	日局 キシリトール 25g

**2. 性状**

本剤は無色澄明の水性的注射液で、その溶液のpH及び浸透圧比は次のとおりである。

pH	4.5~7.5
浸透圧比	約1 (生理食塩液に対する比)

**【効能・効果】**

糖尿病及び糖尿病状態時の水・エネルギー補給

**【用法・用量】**

キシリトールとして、通常、成人1日2~50gを1~数回に分けて静脈内注射又は点滴静注する。

なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、キシリトールとして、1日量100gまでとする。点滴静注する場合、その速度はキシリトールとして、0.3g/kg/hr以下とすること。

**【使用上の注意】**

**1. 慎重投与 (次の患者には慎重に投与すること)**

(1)尿崩症の患者 [本症には適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。]

(2)肝障害、腎障害のある患者 [キシリトールの大量を急速投与すると肝障害、腎障害があらわれるおそれがある。]

**2. 副作用**

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

**大量・急速投与 (頻度不明)：**キシリトールの大量を急速投与すると、電解質喪失を起こすことがある。また、肝障害、腎障害があらわれることがある。

**3. 高齢者への投与**

一般に高齢者では生理機能が低下しているため、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

**4. 適用上の注意**

**(1)投与経路**

静脈内に投与すること。皮下大量投与により、血漿中から電解

質が移動して循環不全を招くおそれがあるので、皮下投与しないこと。

**(2)投与前**

1)投与に際しては、感染に対する配慮をすること (患者の皮膚や器具消毒)。

2)寒冷期には体温程度に温めて使用すること。

3)開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

**(3)投与時**

ゆっくり静脈内に投与すること。[「用法・用量」の項参照]

**(4)投与後**

高濃度液投与の急激な中止により、低血糖を起こすおそれがある。

**5. その他の注意**

キシリトールの大量を急速に静注した場合、諸臓器、特に腎、脳にシュウ酸カルシウムの沈着が認められたとの報告がある<sup>1)</sup>。

**【薬効薬理】**

キシリトールはインスリンの介助を要することなく細胞内に取り込まれるので、インスリン欠乏による糖利用障害時においてもキシリトールの代謝は妨げられず、また血糖値を上昇させることもない。キシリトールはグルクロン酸-キシリロース回路でグルン酸から生成される生理的代謝産物でもあるので、その忍容性も高い。細胞内移行は速やかで、抗ケトン作用を現す。また細胞内に取り込まれ、代謝の最初の段階で補酵素を還元する<sup>2)</sup>。

**【有効成分に関する理化学的知見】**

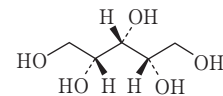
一般名：キシリトール (Xylitol)

化学名：*meso*-Xylitol

分子式： $C_5H_{12}O_5$

分子量：152.15

構造式：



性 状：白色の結晶又は粉末で、においはなく、味は甘い。

水に極めて溶けやすく、エタノール (95) に溶けにくい。

吸湿性である。

融 点：93.0~95.0℃

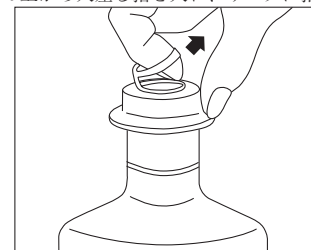
**【取扱い上の注意】**

1. 連結管による混合投与の場合は、Y字管連結にして使用すること。

2. 開栓時の注意：

(1)プルオフリングの支柱部が向こう側になるようにボトルを保持する。

(2)プルオフリングの上から人差し指を入れ、リングに指をかける。



(3)親指で支え、手前方向へ約45度にゆっくり引くと開栓できる。

3. 包装内に水滴が認められるものや内容液が着色または混濁しているものは使用しないこと。
4. 混注の際は注射針をゴム栓の○印にまっすぐ刺すこと。
5. 容器の目盛はおよその目安として使用すること。

### ※※【包装】

キシリトール注射液 5%「ファイザー」：500mL×20瓶（プラスチックボトル）  
\*プラスチックボトルはポリプロピレン製容器である。

### 【主要文献】

- 1) Schröder R., et al. : Schriftenreihe Intensivmedizin, Notfallmedizin, Anästhesiologie 14 : 15-19, 1979 [L20131024010]
- 2) 第十六改正 日本薬局方解説書 廣川書店 : C-1221, 2011 [L20131029253]

### ※【文献請求先】

ファイザー株式会社 製品情報センター  
〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7  
学術情報ダイヤル 0120-664-467  
FAX 03-3379-3053

### 【製造販売元】

**マイラン製薬株式会社**  
大阪市中央区本町2丁目6番8号

### ※【販売】

**ファイザー株式会社**  
東京都渋谷区代々木3-22-7

